

# 井尻公民館だより

(2024年2月1日発行)

<令和6年2月号>

(第239号)

<連絡・問い合わせ先>館長 窪田 道忠 ( )  
主事 相澤陸奥実 ( )

どんど焼きどんど雪の降りにけり

小林一茶



絵手紙愛好会  
篠原勝利

寒い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。2月3日は節分、4日は立春です。早一ヶ月の時間です。

ゆったり過ごすはずのお正月が、いきなり能登地方での大地震、想像を絶する事が、何で今。まして、この寒い時季に誰も誰もが感じ、思ったことではないでしょうか。まさに一寸先は闇の出来事でありました。被害に遭われた方々心からお見舞い申し上げます。2月となると早咲き梅の花が咲き始め、寒さの中にも春の足音が何処か聞こえてきます。「二月逃げ、三月去って、もう四月」足早にこの時期は通り過ぎます。毎年の事なのですが。

コロナ、インフルエンザと、まだまだ流行です。気を抜かず健康に留意しましょう。

## 12月の活動報告

### フラワーアレンジメント

例年恒例となっている教室です。岡部信弥先生の指導を受け、皆さんそれぞれの個性で素晴らしい作品が出来上がりました。お正月を迎える飾りが出来上がりました。



## 2月の行事予定

### 童謡を歌う会

～懐かしい童謡・情歌・唱歌を皆でうたいましょう  
童謡フェスティバルに向けての練習会です～

練習日 1月27日 (土) 午後7時～ 完了済  
2月 3日 (土) 午後7時～  
2月10日 (土) 午後7時～

場所 公民館2Fホール

指導 藤原和美先生 鶴田さゆり先生

合唱曲目 「手のひらを太陽に」  
「揺り籠のうた」→ ゆりかごのうた

大勢の皆様のご参加を、是非、お願いいたします  
地区役員・公民館利用者団体・食改委員・公民館運営委員、  
各皆さんには積極的なご参加、協力をお願いいたします。

### 童謡フェスティバル

～井尻公民館として参加し元気よく合唱しましょう～

日時 2月17日 (土) 開会13時00分～  
場所 甲州市市民文化館大ホール

合唱の後  
「若林秀和の童謡コンサート」  
が行なわれます。



## どんどん焼

年神様が空にかえって行くのをお見送りし、無病息災や五穀豊穰などを祈願する行事です。年神様とは、お正月に各家やって来る、豊作や幸せをもたらす神様です。

**お小屋**、やぐらなど組、火をつけ、正月飾り（しめ飾り、門松など）や書初めなどを燃やします。

どんどん焼の起源は定かではないが、平安時代（794～1185）に宮中で行われていた「左義長（さぎちょう）」という行事が由来という説があります。

左義長がなぜ「どんどん焼」となったかは定かではないが、二つの説があります。火が燃えるのを尊い尊いと声だして眺めていたから、とうとうが、なまって、どんどんとなった説。「どんどん高く燃える」ので名付けられた説があるようです。

**各地区での、お小屋作りを収集いたしました。**



武士原地区



乙川戸地区



下市場地区



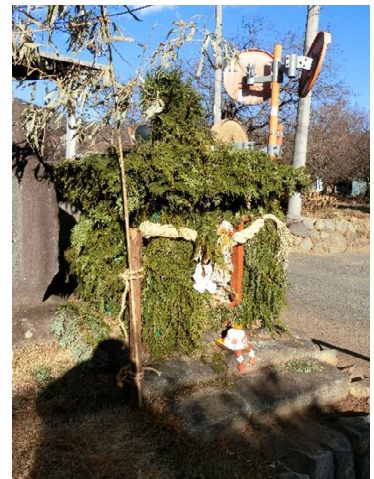
東方地区



能麦地区



井尻地区



上井尻地区

(川柳)

(井尻公民館川柳愛好会) 2023/12/22

君と見た北斗七星永久に  
流れ星子らの幸せ祈るのみ  
星空に世界平和の祈り込め  
一言で顔色変えた凶星かな  
白内障術後の星は千ワット  
真夜中に流星探し目をこする  
星条旗ガザの戦闘止めるのは  
今度こそ流星見たらアレ言おう

(久保 晃)

(田辺たみ子)

(古屋典子)

(雨宮江身子)

(石垣まさ子)

(中村廣一)

(関口正次)

(飯島武志)

(俳句)

(井尻公民館俳句愛好会) 2024/1/10

元旦に龍の猛りや能登の沖  
元朝や鶏の雄叫び時を告ぐ  
孫が刺す姿の手そえる針供養  
海苔粗朶に肅肅と雪降り止まず  
しんとせよ火しんとせよ海苔かざす  
お針子のおもいそれぞれ針供養  
針供養搔卷縫ふ母眼に浮かぶ

(飯島武志)

(飯島和子)

(増田英仁)

(小林昂平)

(鶴田光子)

(三柵 淳)

(三森美恵子)

(短歌)

(古屋和子)

辰年の年始の空に平穏な  
日々を願いて手を合すなり  
正月の能登の巨大な地震での  
家の倒壊身につまされる

(久保 晃)

枯露柿の少し白はく柿色の

肌麗しき師走となりぬ

薄甘く味懐しき枯露柿は

甲州育ち故郷の味

